

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成29年2月9日(2017.2.9)

【公開番号】特開2016-121942(P2016-121942A)

【公開日】平成28年7月7日(2016.7.7)

【年通号数】公開・登録公報2016-040

【出願番号】特願2014-262271(P2014-262271)

【国際特許分類】

G 0 1 N 27/416 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 27/46 3 3 6 B

G 0 1 N 27/46 3 3 6 M

G 0 1 N 27/46 3 5 3 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年12月19日(2016.12.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被測定試料の酸度を測定するための酸度測定装置であつて、

前記被測定試料に電圧を印加するための一対の電極と、

前記一対の電極間に電圧を印加する電圧印加手段と、

前記一対の電極間に流れる電極間電流値を測定する電流測定手段と、

前記被測定試料のpH値を取得するためのpH値取得手段と、

前記電圧印加手段、前記電流測定手段、前記pH値取得手段の制御を行う制御部と、を備え、

前記制御部は、

前記一対の電極が前記被測定試料に接触した状態で、前記電圧印加手段により前記一対の電極間に所定の電圧を印加するとともに、前記電流測定手段により前記一対の電極間に流れる電極間電流値を測定し、

前記電極間電流値と前記pH値とに基づいて、前記被測定試料の酸度を算出するように構成されていることを特徴とする酸度測定装置。

【請求項2】

前記一対の電極間に印加する所定の電圧が、交流電圧または2V以上の直流電圧であることを特徴とする請求項1に記載の酸度測定装置。

【請求項3】

前記被測定試料を充填するための計測容器をさらに備え、

前記計測容器が、前記一対の電極を備えていることを特徴とする請求項1または2に記載の酸度測定装置。

【請求項4】

前記pH値取得手段が、前記被測定試料に接触した状態でpH値を測定するpH測定部であることを特徴とする請求項1から3のいずれかに記載の酸度測定装置。

【請求項5】

前記計測容器が、前記pH測定部を備えていることを特徴とする請求項3に記載の酸度測定装置。

【請求項 6】

前記 pH 値取得手段が、事前に測定され得られた前記被測定試料の pH 値を、前記制御部に入力するための入力手段であることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれかに記載の酸度測定装置。

【請求項 7】

被測定試料の酸度を測定するための酸度測定方法であって、

前記被測定試料に一対の電極を用いて所定の電圧を印加した状態で、前記一対の電極間に流れる電極間電流値を測定するとともに、

前記被測定試料の pH 値を測定し、

前記電極間電流値と前記 pH 値とに基づいて、前記被測定試料の酸度を算出することを特徴とする酸度測定方法。

【請求項 8】

前記一対の電極間に印加する所定の電圧が、交流電圧または 2 V 以上の直流電圧であることを特徴とする請求項 7 に記載の酸度測定方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

このような酸度測定装置及び酸度測定方法では、前記一対の電極間に印加する所定の電圧が、交流電圧または 2 V 以上の直流電圧であることが好ましい。